

第30回学術運動交流集會に160名が参加し学ぶ



記念講演「いのちと暮らしを守るために」 ジャーナリスト 齋藤貴男氏(「縮図から見る世界」連載中)



2/12(月・祝)香川民医連第30回学術運動交流集會を開催しました。コロナ感染がなお気が抜けない状況の中で3年続けてのオンライン開催となりましたが、160名を超える職員が参加し学び交流しました。

冒頭、北原医療介護活動委員長からの挨拶では、「全世界がロシア、イスラエルの国際法守らない、収束が見えない蛮行に心を痛めている。日本では1月に発生した能登半島地震による甚大な被害に対して迅速な生活再建への十分な支援が必要です。大軍拡に税金使っている場合じゃありません。この集會で掲げた①地域の最後の砦としての民医連の役割発揮 ②大軍拡でなくケアを、戦争させないいのちを守る大運動について学び、日々の実践を交流しようと呼びかけられました。

記念講演は民医連共済だよりにシリーズ連載中の齋藤貴男氏がオンラインで登壇。

- ①安保3文書で「戦争する国づくり」へ本気で突入。日常生活に軍靴の響きが忍び寄る。
 - ②日本はアメリカの都合のいい傭兵か。本当に日本が中国と戦争しなければならない理由があるのか？
 - ③便利かも？で始まったマイナ保険証で国民の経済状況、趣向、思想まで把握し、差別と選別まで進む監視社会が完成する。
 - ④国民要求にしっかり根ざす各団体の運動の中で「戦争する国づくり」の危険性を共有し共闘を広げることが大切と話されました。
- 続いて、1つの指定報告と9つの演題が発表され、【医活委員長賞】に「こどもを受診に連れてくる父親の意識調査(へいわこどもクリニック)」、【県連会長賞】に「国民健康保険加入世帯の実態調査アンケートから見えること(栗林公園前薬局)」が受賞されました。最後に大西会長が各演題の講評と高松港の軍事利用に触れられた閉会の挨拶を行いました。

定例平和杜保宣伝: 【市民連合】19日朝7時半/ 【社保協】25日朝7時半/ 【憲法C】第2(水)17時半
【革新懇6の日行動】6日12時/ 【原水協6・9行動】9日12時/ 【原発なくす会】最終(金)17時半